

# APEX Vol. 10 記念特集

## 『応用物理』編集委員会

応用物理学会が刊行している英文レター論文誌 *Applied Physics Express* (APEX) は 2008 年に創刊され、今年が Vol. 10 が発行される記念の年です。今号は、ほとんどを APEX Vol. 10 記念特集の記事で構成しました。

「研究紹介」は、APEX に掲載された論文のうち、注目度の高かったものについてご執筆いただきました。APEX 掲載全論文中の被引用数トップ 10 から 6 論文 (CZTS 太陽電池, Ag 上シリセン, MTJ 内蔵集積回路, カーボンナノチューブの高度制御, 高移動度有機トランジスタ, 金属/Ge 界面の制御), 2013 年以降掲載の被引用数トップ 2 論文 (Cu<sub>2</sub>O 太陽電池とペロブスカイト太陽電池) に加え、2015 年に掲載されて驚異的なダウンロード数を記録した 1 論文 (太陽光利用水素発生) です。被引用数トップ 10 のうち 4 論文 (下表参照) は、以前の機関誌に関連記事をご執筆いただいていたので、今回の特集には含まれていません。いずれの記事も、APEX 掲載論文の背景や研究成果だけでなく、その後の発展や APEX 投稿の舞台裏などについてもご紹介いただいています。

Y. Enya, Y. Yoshizumi, T. Kyono, K. Akita, M. Ueno, M. Adachi, T. Sumitomo, S. Tokuyama, T. Ikegami, K. Katayama: 531 nm green lasing of InGaN based laser diodes on semi-polar {2021} free-standing GaN substrates, <i>Appl. Phys. Express</i> 2 (2009) 082101.
T. Miyoshi, S. Masui, T. Okada, T. Yanamoto, T. Kozaki, S. Nagahama, T. Mukai: 510–515 nm InGaN-based green laser diodes on <i>c</i> -plane GaN substrate, <i>Appl. Phys. Express</i> 2 (2009) 062201.
Y. Yoshizumi, M. Adachi, Y. Enya, T. Kyono, S. Tokuyama, T. Sumitomo, K. Akita, T. Ikegami, M. Ueno, K. Katayama: Continuous-wave operation of 520 nm green InGaN-based laser diodes on semi-polar {2021} GaN substrates, <i>Appl. Phys. Express</i> 2 (2009) 092101.
H. Goto, K. Nosaki, K. Tomioka, S. Hara, K. Hiruma, J. Motohisa, T. Fukui: Growth of core-shell InP nanowires for photovoltaic application by selective-area metal organic vapor phase epitaxy, <i>Appl. Phys. Express</i> 2 (2009) 035004.

APEX は、同じく応用物理学会が刊行している *Japanese Journal of Applied Physics* (JJAP) のレターセクションを切り離す形で創刊されました。創刊当時と現在の APEX に関わるキーパーソンに集まっただけ、APEX 創刊の背景やねらい、プロモーションや編集の戦略などについて、座談会で振り返りました。現在の状況や今後の展開などについても語られています。「APEX——その生い立ちと現状、将来」で、APEX に込められた熱い思いを実感いただけるでしょう。

応用物理学会は英国物理学会出版局 (IOP Publishing) と提携し、2014 年以降、APEX と JJAP のオンラインホスティングと販売は IOP Publishing によって行われています。IOP Publishing から見た APEX について、特別寄稿をいただきました。

また、普段はあまり目にする機会のない APEX 編集の裏側を、応用物理学会会員の皆さんにはおなじみの理系漫画家はやのんさんがレポートします。

APEX/JJAP 専任編集長による英語論文の書き方の「講義」も注目です。これから論文を書きたいと思っている大学院生などの若い読者だけでなく、若手を指導する立場の研究者・技術者の皆さんにもきっとお役に立つはずです。

担当編集委員：近藤高志，市川 結，木村康男，鈴木真理子